

投稿規定・執筆要項

Instructions for Authors

地域生活学研究会（富山大学）

The Association of Inter-disciplinary Researchers on Community Life, University of Toyama

投稿規定

(2014年2月16日改訂)

投稿資格

地域づくり、まちおこし、環境保全、公共交通など、「地域」や「生活」に何らかの関わりをもつ問題に真摯な関心がある方なら、どなたでも投稿できます。

投稿期限と投稿方法

本誌は形式上、年1号を刊行していますが、投稿物は随時受け付けており、受理された原稿から順次掲載します。当該年内に受理されたものは、その年の号に収められます。速報性を重視し、アップロードの際は原稿種別にかかわらず先着順でfrom/to ページが付加されますが、ウェブ上で表示される際には、掲載原稿は種別にソート（振り分け）された状態で表示されます。

投稿者は、電子メールの添付ファイルまたはオンラインのファイル転送サービスでお送りください。画像などの添付ファイルが大きく、全体のサイズが5メガバイトを超える場合は、添付ファイルを受け取れない場合が生じますので、オンラインのファイル転送サービス（データ便など）を利用してお送りください。

宛先：lichthoffen @hotmail.com

原稿種別

投稿原稿は未公表の総説、論文、報告、書評、エッセイの5種類を基本とします。上記の以外の種別での投稿については、投稿の際にご相談く

ださい。投稿の際には、ご希望の原稿種別をお知らせ下さい。閲読の結果によっては、原稿種別の変更を求めることがあります。書評は査読の有無を選択でき、エッセイは査読無し扱いとなります。査読を経た論文には左の印が付き、経ていない原稿は右の印か、無印となります。



- (a) 「総説」とは、あるテーマに関連する既往の研究や学説などを整理総括して評価するもの。
- (b) 「論文」とは、あるテーマを学術的根拠に基づいて論じたもの。
- (c) 「報告」とは、調査によって得られた資料や聴取記録をまとめたレポートの類い。
- (d) 「書評」は、書籍や論文を紹介し執筆者の評価を加えたもの。書評論文を含む。
- (e) 「エッセイ」は、あるテーマに関する個人の考えやエピソードを述べたもの。

なお、投稿原稿は未発表のオリジナルな原稿に限り、公表に伴う一切の責任は投稿者に帰属します。匿名での投稿は原則として認められませんが、特段の事情があれば考慮いたしますので、ご照会ください。掲載物の著作権は投稿者に帰属しますが、当研究会による電子ファイルおよび冊子体での公開を妨げないものとします。

字数

字数制限は厳密には設けませんが、おおむね総説は 16,000 字以内、論文は 12,000 字以内、報告は 8,000 字以内、書評とエッセイは 4,000 字以内を目安としていただくと良いでしょう（査読の過程で冗長な文章は削除を求めることがあります）。

審査方法

投稿原稿は編集委員会および当委員会が委嘱した外部査読者により査読を受けた後、掲載の可否を編集委員会が決定し、投稿者に連絡します。その過程で、一部の書き直しなどをしていただくこともあります。

査読無しの場合、{入稿→原稿確認と簡単な内容チェック→段組（場合によっては誤字脱字などの修正依頼）→校正→リポジトリ登録}の順に進み、概ね一週間程度で全てのプロセスが終わります。査読がある場合は、{メーリングリストを活用したコアメンバーによる閲読と修正要求→再投稿}がこれに加わり、最短で二週間から一ヶ月で可否を決定し、長くても二ヶ月以内に受理するスケジュール感となります。

執筆要領

(2013 年 10 月 4 日改訂)

全体について

- いただいた原稿および図表は受理決定後に当方が段組みしますので、標準的な書式であれば問題ありません。
- 原則として、Word で作成してください（バージョンは問いません）。
- A4 用紙に横書きとします。
- 日本語タイトルとともに英語タイトルを付してください。
- フォントは、MS 明朝（和文）と Times Roman（欧文・数字）に設定してください。
- 記述言語は日本語または英語です。English papers

are welcome. Feel free to send us your manuscript (with tables/figures) in MS Word format for review.

- 数字は、原則として半角とします。
- 図表・写真等を含め規定字数以内でまとめてください。図表や写真は、ファイルの適切な場所に貼り込んでください。

引用について

- 本文中に、本や論文などの文章を引用したり、参照したりする場合は以下の要領にしたがって記述してください。
- 分野によって論文の体裁が異なりますので、分野固有の記法がある場合はこれを尊重しますが、(1)著者名・編者名、(2)刊行年、(3)タイトル、(4)掲載誌・書名、(5)巻号、(6)書籍の場合は出版社名、(6)掲載頁 (From/to) は明示するようにしてください。
- インターネット上の情報を引用する場合は、注に、URL と閲覧日を記してください。
- 本文中で引用した場合は、引用文献の著者名、年号と引用部分を文中に記してください。
例：... 地域生活学研究会（2013）によると「これは執筆要項」である（pp. 1-2）。

書評、エッセイの執筆について

A4、横書きでおおむね 4,000 字を目安にしてください。それ以外にとくに記述方法は定めませんので、自由にお書きください。写真の添付もかまいません。ただし、文章、写真ともに個人情報をみだりに公開したり、誹謗や中傷を含むことのないよう、十分ご配慮ください。

学術的な意味での査読はありませんが、本誌の出版理念にそぐわない、公序良俗に反する内容と判断された原稿は掲載をお断りする場合があります。